

キラキラ輝く、働き女子に学べ！ 最新ハッピーお仕事ファイル。

広報からデザイナーまで、
様々な業界の働く女性7名に密着取材！
全身で仕事を楽しんでいる様子から、
職探し&幸せに働くためのヒントや、
理想的なワークライフバランスを学んで。
女性社長の座談会と適職探しアドバイスも。



FILE #1
フードコーディネーター
SHIORIさん 25歳
人気料理本『作ってあげたいごはん』シリーズ著者。最新刊『SHIORI'S おうちごはん』(小学館)が好評発売中。ブログは<http://ameblo.jp/karegohan/>

上・新しい料理の試作。この日はラゲールのパスタを作製。下・完成した料理をブログにアップ。レシピ作り方のコツも丁寧に。



『作ってあげたいごはん』(宝島社)。“好きな人のために作るごはん”をテーマに一人暮らしの狭い台所でも作れるレシピを紹介。

自分の本がきっかけで誰かが幸せになる。やりがいには格別です。
ブログから生まれた料理本、「作ってあげたいごはん」シリーズが手がけたこの本は、シリーズで130万部超と、料理本では異例のヒットを記録した。「昔から料理のレシピブックを読むのが好きで、でも、大学は普通の文系の短大に進み、特に料理とは縁のない生活を送っていました。2年生のときに就職活動に失敗したのをきっかけに、どうせなら好きなことをやっちゃおう、と。それで考えたのが料理の道に進むことと、料理本の出版でした」

昔は夢も目標もない。だから人生。だった、と短大時代までを振り返る。けれど、決心を固めてからの勢いは、凄まじいものがあった。思い立ったらとことんやる性格を発揮し、約2年半で売れっ子フードコーディネーターに。書籍化を目標に始めたブログは1か月半で約3000のブログの中で1位となり、ついに自分の料理本を出す夢を叶えた。

雑誌への寄稿や企業とのコラボレーションに奔走する日々。めまぐるしい毎日の中で、そこまでがんばり続けられる秘訣は？
「家族や友達との温かい励ましや、サポートしてくれる編集者さんの期待に応えたいという思いかな。読者の方からの声も大きいですが、私の本をきっかけに付き合っている彼のために料理を始め、彼と結婚したというお話を聞いたとき、すごく嬉しかった。この仕事をやっていくよかったですね、という仕事や、仕事で一番の悩みは「試作や勉強のために食べすぎて太ってしまうこと」。今後は映画の料理コーディネーターにも挑戦していきたいとのこと。SHIORIさんの勢いは当分止まらなさそう。

経歴

- 20歳 短大卒業後、フードコーディネーター養成スクールに入学。テーブルセッティング、盛りつけ法などを学ぶ。その後、料理研究家に弟子入り。アシスタントとして料理修業を積み
- 21歳 アシスタント業務も続けつつ、雑誌の連載の仕事始める
- 22歳 3月 書籍化を目標にブログ「作ってあげたいごはん」をスタート。4月 フードコーディネーターとして独立。念願の書籍も発行
- 25歳 フードコーディネーターとして、雑誌連載執筆に、企業とのコラボレーションにと日々奔走

ある日のスケジュール

- 10:00 アシスタントと一緒に、料理の試作
- 17:00 食器のリース屋へ。撮影に使用する食器をピックアップ
- 20:00 事務作業。試作した料理のレシピをまとめる作業、原稿チェック、ブログアップなど
- 21:00 ジムで1時間ほど汗を流す
- 22:30~ TVを見たりネットサーフィンをしたり、ひたすら「ほーっと」する

人への感謝を忘れずに。既成概念にとらわれず、女性を支援したい。

「小学生のときの夢は社長。もっとも独立心が強かったんですね」葉山泰子さんは、現在自ら会社を設立し、プライダルをはじめと

した女性向けの事業企画、プロデュース業に専念している。「大学を卒業する頃、当時の恋人との結婚話がきっかけでプライダ

ル業界に興味を持ったんです」その頃、葉山さんの住む中国地方と九州のプライダルプロデュー

毎月の給料5万円で、プロデューサーの2階に寝泊まりしながら、2年間で学べるものすべてを学び、独り立ちしていった。「当時はホテルでの決まりきったウェディングプランしかない時代。そんな中、音楽をカスタマイズできるスタイルを提案したり、プライダルファッションショーを企画したりと、自由に動き回っていましたね(笑)」

その後、渡米。欧米式プライダルの現場を経験し、帰国後に起業。現在は、打ち合わせをネット上で済ませられたりと、忙しい現代女性のライフスタイルに合わせて、様々な機能を備えたプライダルポータルサイト「O&Oワンアンドオンリーウェディング」開発のほか、美容や育児関連など、女性を

支援する、という視野で業種間わず幅広い事業に携わっている。「実は基本は、ほーっとしているタイプ。多くの人に支えられて今までやってこられた実感がありません。感謝の心を忘れずに、今、何を大事にして、何をすべきか——それを突き詰めて実行するだけで、自然とすべてがうまく循環していく。とてもシンプルですよ」



今年2月、長野県にリニエールオープンしたウェニックスホテル白馬。デザイナーとプライダルプランレットデザイン相談中。

経歴

- 22歳 大学卒業後、ウェディングプロデューサーに弟子入り。結婚式とプライダルファッションショーのプロデューサーとして経験を積み
- 27歳 渡米。語学学校へ通いつつ、欧米式のプライダル経験を積み。結婚、出産。海外での子育ての経験から、幼児教育、保育、福祉、エコに興味を持つように
- 30歳 帰国。不動産ディベロッパー、ヘッドハンティング会社、広告代理店の新規事業企画部で業務を経験
- 32歳 企画・プロデュース会社「CHIKYU U GROUP」設立。女性向け事業企画、商品企画、イベント企画で活躍

ある日のスケジュール

- 6:00 起床後、メールチェック
- 7:30 朝食作り&朝食。保育園送迎&ママ友との情報交換
- 9:30 出社、メールチェック、スケジュール調整、企画書作りなどのデスクワーク
- 10:30 OO社を訪問。「カレンダーイズ」営業企画打ち合わせ
- 12:00 ランチ
- 13:00 白馬ホテルのプロデュース、ブランディング打ち合わせ
- 15:00 プライダルシステム開発打ち合わせ
- 17:00 デスクワーク、企画書作り
- 19:00 女子異業種交流会への参加
- 21:00 遊び&趣味の時間
- 23:00 帰宅&バスタイム&TVのビジネス番組チェック

FILE #2
事業企画&プロデュース
葉山泰子さん 33歳
「CHIKYU GROUP」代表。プライダルサイト「O&Oワンアンドオンリーウェディング」(www.oao-wedding.com/)など、様々な女性向け事業の企画、プロデュースを行う。



FILE #3
プロジェクトディレクター
嘉村真由美さん 31歳
企画会社「ASOBOT」にて、都市型コミュニティ構築を図る「シブヤ大学」、住宅街でのアートイベント「AOBA+ART」など様々な市民参加型プロジェクトの企画・実行を行う。

「誰かに価値あるものを世に出すため、自分なりの展開を。」
横浜市青葉区の住宅街・美しが丘を舞台に繰り広げられるアートイベント「AOBA+ART」。制作過程も含めたアート作品の再生を活かして、地域コミュニティの再生をねらうこのプロジェクト、全体の進行を統括する嘉村真由美さんは、様々な企画に携わる。「将来について明確な何かが決まっているわけではないんです。でも、世の中や誰かにとって本当に価値があると思うものを出したい」

経歴

- 24歳 ギャラリー「ROCKET」、アートマネジメントオフィス「BUILDING」に勤務。アート、ファッション、デザイン分野で国内外の若手作家のマネジメントおよび、個展・企画展などのプロモーション活動を行う
- 27歳 フリーに。写真展の企画や、機内誌の編集に携わる
- 28歳 「ASOBOT」に参加。現在、「シブヤ大学」「AOBA+ART」「GENERATION TIMES」など様々な企画のディレクション・制作を行う

ある日のスケジュール

- 10:00 出社。デスクワーク
- 13:00 ランチ
- 14:00 デスクワーク
- 15:00 GTラボ打ち合わせ
- 17:00 デスクワーク
- 18:00 電車でたまプラーザへ移動
- 18:40 AOBA+ARTプロジェクト会議
- 21:30 会議終了。自宅へ
- 22:30 帰宅。夕食
- 23:00 メールチェック
- 24:30 入浴、読書など

現在は、「AOBA+ART」のほか、若者向けのジャーナル・タプロイド紙「GENERATION TIMES」から生み出す新たな企画など、複数のプロジェクトを担当。「もともと飽き性なので、そういう面でも今の仕事は合っていますね。これからのいろいろなことを形にしようと思っています(笑)」